

この説明書を良く読んでご使用ください。取扱説明書は保管して下さい。
本器は理化学機器です。一般の方はご使用できません。本器は容器内の試料を攪拌するための装置です。使用する容器に合わせて固定方法を確認してください。低速から高速まで安定した振とうで混ぜ合わせることができますが、共振点を避けて使用してください。

仕 様

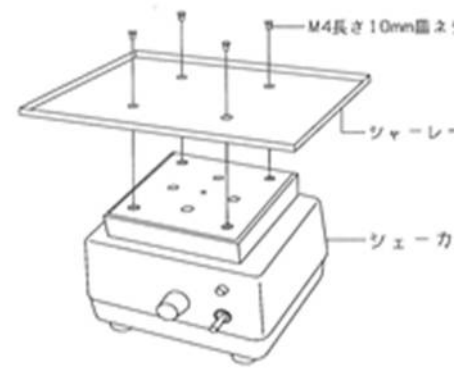
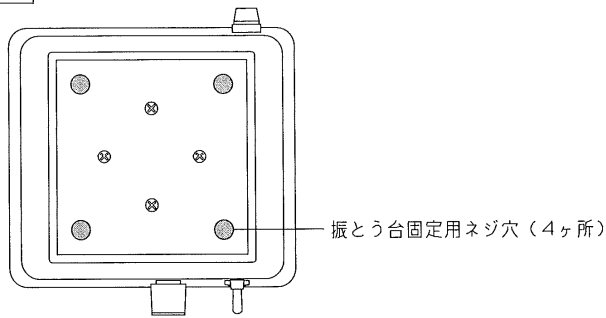
振とう台（オプション）	シャーレー用、汎用
振とう数	0~500rpm
振とう方式	エキセン式
モーター	DC ブラシレス、インバーター制御
使用環境	使用温度 5~35℃ 湿度 85%以下(但し恒温器内 0~45℃可) 結露しないこと
保護機能	過負荷保護、過電圧保護
外寸法・重量	本体 W180×D193×H144mm・7kg
電源	AC100V,50/60Hz,0.5A 三芯接地プラグ付電源コード

安全のための注意事項

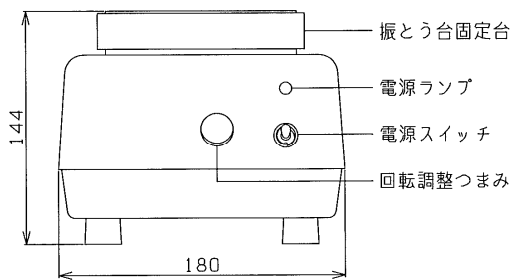
- 防爆型ではありません。引火性、爆発性のあるガスの雰囲気中では、絶対に使用しないでください。
- 電源は AC100V,1A 以上とれるコンセントに直接差し込んでください。三芯接地付コンセントがない場合も、必ずアースを接続してください。
- 接地アダプターの使用はプラグの緩み等による過電流で火災等、事故の原因になる場合がありますのでお避けください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。過熱、火災の原因となります。
- 落下の危険のない場所に水平に設置してください。周囲に 20cm 以上の間隔を空けてください。
- 共振点：回転は徐々に上げてください。振動が大きな箇所があります（共振点）ので、その位置を避けて使用してください。本体が移動したり、容器から試料が飛散する恐れがあります。
- 振とう台を手で押して負荷をかけないようにしてください。モーターに余分な負荷をかけ故障の原因になります。また、運転中、手で触れて怪我をしないようにしてください。
- 本器に水がかからないようにしてください。腐食、電装部の故障、特に漏電の原因となります。
- 使用環境の範囲を越えて使用しますと、動作不良、故障の原因となります。
- 使用しないときは、必ず電源プラグを抜いて保管してください。
- 雷が鳴り始めたら、電源スイッチ、元電源を必ず切ってください。
- 装置を分解・改造しないでください。漏電、感電、異常動作、火災等、事故の原因になります。

機能説明図

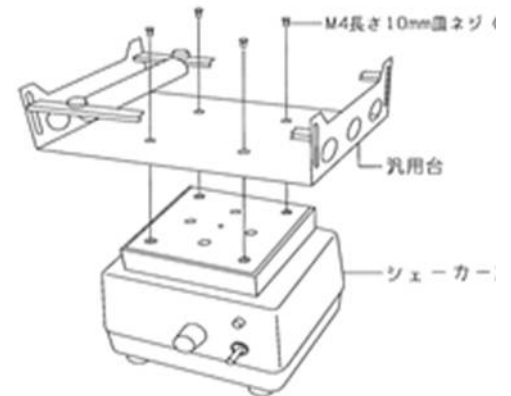
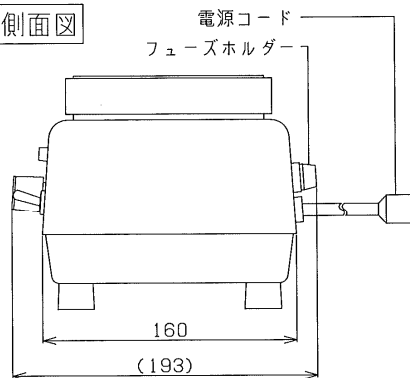
上面図



正面図



側面図



使用方法

1. 機能説明図を参考にして、振とう台を取り付けます。
2. 振とう台に左右、前後バランスよく試料容器をセットします。
3. 回転調整つまみを **MIN.**に合わせ、電源スイッチの **OFF** を確認して、電源プラグを三芯接地付コンセント差し込みます。
回転を上げたまま電源スイッチを **ON** しないでください。暴走する場合があります。
4. 回転調整つまみを時計方向に回して、必要な回転に調整します。急速に回転を上げないでください。試料の状態を見ながら最適の速度に調整してください。共振する場合がありますので、共振点は避けて調整してください。
5. 実験終了後、回転速度を下げ、電源を **OFF** にし、電源プラグを抜いて保管してください。プレートの取り付けが緩んだ時は、シリコンシートをめくり4か所のネジを+ドライバーで締め付けてください。

保証・故障・修理

1. 通常の使用における故障については、お買い上げ後一年間無償保証します。
印刷の汚れ、剥がれ、外装の傷等、また、落下による破損、消耗品の交換等については、保証いたしかねますのでご了承ください。
2. 使用中、異常が発生した場合、直ちに運転を中止し、販売店にご連絡ください。
この際、製造番号をお知らせください。